

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	財政白書作成事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	06	公・民バ・トナ・シップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	財政調整課				
施 策	6-2	健全で効率的な行政運営		主管課長	安井 彰				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市の財政状況	意図	市民にわかりやすく説明する
事業内容	市の財政状況について、従来の決算数字のほかに複式簿記の考え方を取り入れ、行政コストや純資産変動などをわかりやすく解説した白書を作成する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成20年度決算版を平成21年度に発行し、その後、経年比較、他団体との比較・分析等を加えるなどして現在に至っている。 また、平成22年度決算版から有料発売することとしている。（1冊1,000円）			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名 称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 市民の皆様に対して、できる限りわかりやすい内容の白書を作成するために、表現方法や図表等を工夫してきた。 また、財政白書に対する要望や意見が提出されたことから、可能な限りその要望内容を踏まえたものとした。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,671,500	7,321,425	7,315,022			
事業費（b）（円）		493,500	334,425	405,756			
うち一般財源		493,500	334,425	405,756			
職員給与と費(c)(円)		7,178,000	6,987,000	6,909,266			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	作業内容の見直しや掲載内容について検討する。	取り組みの課題	市民の皆様によりわかりやすい内容の財政白書となるよう、掲載内容等十分検討する必要がある。
今年度(H26)に実施した取り組み	市民団体からいただいた財政白書に対する要望事項を可能な限り反映した内容の白書を作成した。また、印刷製本の方法をオンデマンド印刷方式で行った。	今後の改善計画	自前での作成を行っていく中で、効率的な、作成方法やスケジュール等を検討していく。